

令和3年度（第2回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年6月30日（水） 14時00分～15時50分
 - 2 開催場所 市民会館 大会議室
 - 3 出席委員 佐伯委員、熊谷委員、田上委員、西村委員、後藤委員、高瀬委員、山本委員、鹿多委員、岡本委員、山尾委員（10名）
 - 4 欠席委員 川尻委員、田中委員、徳田委員、和田委員
 - 5 出席職員 小南教育長、神吉教育指導部長、杉本教育指導部次長、桐山教育指導部参事、梅野社会教育課長、長谷川少年自然の家所長、西森中央図書館副館長、高橋加古川公民館長、藤原加古川西公民館長、今津青少年育成課長、社会教育課（岡本副課長、川向地域家庭教育係長、三軒主査、藤本主事）
 - 6 傍聴者 0名
 - 7 議事要旨
- 開会 14時00分
委員長あいさつ、教育長あいさつ

（協議事項）

コロナ禍における社会教育について

（少年自然の家、中央図書館、加古川公民館、社会教育課より説明）

委員

社会教育推進員の定例会が開催できておらず、また、年度計画も立てられない状況である。新型コロナウイルスのワクチン接種率が高くなれば、秋には文化祭を開催したいと考えている。

委員

令和2年度、志方東地区で10月にコスモスまつりを実施した。例年実施している飲食ブースは設けず、手指消毒の実施や、切り花に使用するハサミの消毒等の対策を実施した。市内の方よりも、神戸方面からの来場者が多かった。今年度も実施できるかはわからないが、7月にコスモスの種まきを予定している。

委員

令和2年度、公民館の高齢者大学OB会に加入したが、1年間活動ができなかったため、今年度、令和2年度に予定していたカリキュラムを実施する予定である。また、婦人会の活動も、令和2年度は自粛したが、今年度はピョピョサロンや七夕イベント等、子育て事業を実施したいと考えている。最近、知り合いに会えば、新型コロナウイルスのワクチンの接種について話すのが当たり前のようになっている。

委員

各施設や所属の説明を聞き、コロナ禍においても工夫して社会教育活動を実施していると感じた。令和2年度、小学校の運動会は中止したが、6年生の保護者から、体育の授業の様子だけでも見学したいという強い要望があった。感染症対策は、保護者が積極的に実施してくれた。例年と同規模で実施するのは難しいが、小規模であっても可能な範囲で事業を実施することができるとうわかった。また、子どもたちの楽しそうな表情を見ることができて良かった。新型コロナウイルス対策として、給食時の黙食やプール時に会話をしないこと等が徹底できるか不安であったが、子どもたちがきちんと約束を守ってくれてとても助かっている。

委員

加古川中学校のトライやるウィークの受入れを予定していたが、30分程度打合せのみを実施

することとなった。生徒たちが一生懸命に質問してくれて、予定より長い1時間程度の打合せとなった。後日、生徒たちから手紙と手作りのマスクが届き、嬉しかった。

市民団体の活動では、4月にウェルネスパークでコンサートを実施した。緊急事態宣言によりウェルネスパークが休館する前日の開催であったため、実施して良いか不安であったが、ウェルネスパーク職員の後押しもあり、無事開催することができた。7月には人形劇を実施予定である。コロナ禍ではあるが、できることを努力してやっていきたい。

委員

人権擁護委員の活動としては、例年実施している、中学生の人権作文コンテストを令和2年度は中止した。加古川市の中学校からは例年多数応募があり、また、入賞作品も多いため、実施できなかったことは残念である。今年度は実施予定である。また、例年、10名程度の委員で学校園を訪問し、人権教室を実施しているが、令和2年度は実施できなかった。代わりに、人権に関する人形劇のDVDを作成・学校園に配布し、子どもたちに見てもらった。

町内会では、役員が2年交代のところが多く、2年間活動できないとなると、活動のノウハウを後任に伝えるのが難しいため、マニュアル作成を検討している。

委員

コロナ禍で何が必要か考え、手作りマスクを医療従事者に提供する活動を実施した。また、巣ごもりフレイルが問題となっている中で、手紙やLINE等を活用し、孤立することを防ぐよう努めた。その他、コロナ感染者等への差別や偏見防止を目的としたシトラスリボンプロジェクトも実施した。

委員

図書館は乳幼児の利用もあると思うが、どのような感染対策を実施しているのか。

中央図書館副館長

手指消毒や本の消毒等を実施している。

委員

令和2年度、氷丘公民館の登録団体運営協議会の役員をしていたが、何をするにも及び腰になってしまい、発表会の実施を断念したが、一部の団体は駅のギャラリーで作品を展示した。また、コーラスグループへの取材の様子等を、ヒオカテレビ（YouTube）で配信している。ただし、高齢者のYouTube利用が浸透していないことが課題になっている。

委員

コロナ禍の活動に対する不安や葛藤があったが、様々な工夫や努力が大切であると感じた。

委員

令和2年度は、年10回程度、様々な市町村の高齢者大学等に訪れる予定であったが、多くが中止になってしまった。また、訪問しても、皆で一緒に歌う等の活動ができず、多くの制約がある中での活動となった。

各施設の新型コロナウイルス感染症対策に関する消毒液等は足りているのか。

加古川公民館長

教育委員会で一括して購入し、現時点では十分な量を確保できている。

委員

各施設にサーモグラフィは設置されているのか。

加古川公民館長

市役所には設置されているが、社会教育施設には設置されていないが、非接触型の体温計は配備されている。

コロナ禍における社会教育施設の利用についてのアンケートについて
(社会教育課より説明)

委員

アンケートはホームページからのみの回答となるのか。紙媒体でも用意した方が良いと思う。

地域家庭教育係長

紙媒体でも用意し、各社会教育施設の窓口に設置予定である。

委員

質問3について、すでに実施している感染症対策が記載されていると良いと思う。

地域家庭教育係長

追記したいと思う。

委員

質問4において、なぜ個人利用を可とする案を記載しているのか。

地域家庭教育係長

コロナ禍において複数人で利用することが、感染拡大に繋がる可能性がある。個人利用であれば感染リスクが低くなると考える。

委員

質問4の個人利用を可とする案は必要か。

社会教育課副課長

コロナ禍で施設利用者が減少傾向にあり、各施設でも空き部屋が増えている。そのような部屋を有効活用するためにも、社会教育法における整理が必要だが、個人利用について検討したいと考えている。

地域家庭教育係長

いただいた意見を反映し、アンケートを修正する。

(報告事項)

(1) 社会教育委員協議会の今後の予定について
(社会教育課より説明)

(2) 移転後の加古川図書館の概要について
(中央図書館より説明)

委員

社会教育委員も移転後の加古川図書館を見学する機会はあるか。

中央図書館副館長

内覧会を予定しているため、準備が整い次第案内させていただく。

(その他)

なし

○ 閉会 15時50分
副委員長あいさつ

以上